

問6 長文読解

(本文の日本語訳)

こんにちは、みなさん。私はユキです。今日、私はプラスチックのゴミの問題についてお話します。プラスチックゴミは私たちの環境において大きな問題になってきていますので、みなさんが私と一緒にこの問題を考えてくれるとよいと思います。

現在、私たちは生活の中でたくさんのプラスチック製品を使い、その多くは使い捨てのプラスチック製品です。使い捨てのプラスチック製品とはどんなものなのでしょうか。私たちはお店で、プラスチックの箱やペットボトルなどのプラスチック容器包装に入れてあるいろいろな種類の食品を買うことができます。私たちはものを買う時、もし自分自身の袋を持っていなければレジ袋が必要です。こういったプラスチック製のものが、使い捨てのプラスチック製品の例です。今、世界の多くの国々では使い捨てのプラスチック製品を減らそうとしています。日本では2020年に法律によってレジ袋が有料化されます。他の多くの国では、すでにレジ袋に関する法律があり、それらは有料化されています。もちろん今でも、レジ袋をもらうのにお金が必要なお店は日本にもたくさんあり、私たちの多くは買い物に行く時に自分自身の袋を持っています。しかし私たちの国にはレジ袋に関する法律はありません。

なぜ私たちは使い捨てのプラスチック製品を減らさなければならないのでしょうか。グラフ1を見てください。2015年、世界の全プラスチック製品の36パーセントはプラスチック容器包装でした。プラスチック製品は石油から作られており、もし私たちが石油を使い続ければ、将来は石油がなくなってしまうでしょう。だから私たちは、プラスチック製品、特にプラスチック容器包装のような使い捨てのプラスチック製品をたくさん作るべきではないのです。

ではグラフ2を見てください。2015年、プラスチック容器包装のゴミの14パーセントのみがリサイクルされ、40パーセントは埋め立てゴミとなりました。もし私たちが埋め立てゴミを出し続ければ、将来、地球上にゴミを埋め立てる場所はなくなるでしょう。同じグラフから、プラスチック容器包装のゴミの32パーセントが私たちの環境に漏れ出たこともわかります。このプラスチックゴミは最終的には海にたどり着きます。プラスチックゴミは分解するのに長い時間を要します。レジ袋を分解するのに10年から1000年かかると言う科学者もいます。ペットボトルだと450年かそれ以上かかります。プラスチックゴミは非常に長い間私たちの環境に留まることがわかります。私たちの環境で、それは動物に悪い影響を及ぼします。プラスチックゴミを食べ、死んでしまう動物も中にはいます。今、これは世界で非常に大きな問題です。日本でも2018年、鎌倉市の由比ヶ浜海岸で死んだ赤ちゃんクジラが発見されました。この赤ちゃんクジラの胃にはプラスチックゴミがありました。2019年4月、奈良公園の鹿が死に、胃から約3キロのレジ袋が見つかりました。もし私たちがプラスチックゴミを減らさなければ、将来、海には魚より多くのプラスチックゴミが存在することになるだろう、と言う科学者もいます。

今度はグラフ3を見てください。2014年、中国が世界で最も多くのプラスチック容器包装のゴミを出したことがわかります。しかし個人で考えると、アメリカが1位、日本が2位でした。ですから私たち一人一人がプラスチックゴミを減らすようにしなければなりません。

プラスチックゴミはリサイクルできると言う人もいます。しかし、何かをリサイクルするためには多くのお金が必要でし、多くの二酸化炭素を出すことになります。それは私たちの環境にもう一つの問題をもたらします。従って私は、ゴミを減らすことが重要だと思うのです。みなさんは「3Rs」という言葉を知っていると思います。「Reduce (減らす)」、「Reuse (再利用する)」、「Recycle (リサイクルする)」のことです。今はもう一つRがあります。それは「Refuse (断る)」です。ゴミを減らすためにゴミの原因となるものは「断る」ことが重要です。例えば、お店で私たちは「レジ袋はいりません」と言い、レジ袋を断ることができます。自分自身の水筒にお茶や水を入れ、出かける時に持っていけば、私たちはペットボトルを買う必要がありません。これは「リフューズ、断る」の一例です。このように使い捨てプラスチック製品を断り、プラスチックゴミを減らしましょう。今こそ私たちの環境をよりよくすることが本当に必要なのです。ご清聴ありがとうございました。